

今日の給食は防災献立 「救給カレー」

防災の日に合わせ、非常食の「救給カレー」を関市内全小中学校の給食で提供します。

「救給カレー」は、災害時などにおいても、アレルギーを心配することなく、児童生徒がおいしく食べることができるように、2013年に全国学校栄養士協議会が開発したものです。

賞味期限は3年で、食器に移す必要がなく、温めずにそのまま食べることができます。今回のように、実際に非常食として使用されないまま賞味期限が近づいた場合は、学校給食に活用することで防災教育に役立てています。

- 1 日 時 令和4年9月1日(木)
12時頃～13時頃(各校で異なる)
- 2 場 所 市内27小中学校
- 3 対 象 全児童生徒及び教諭 約7,600人
- 4 取材場所 関市立安桜小学校6年1組(39人)
給食時間12:30～13:00
学校長 長屋メイ子 全校児童449人
関市いろは町1丁目1番地
- 5 目 的 9月1日の「防災の日」に、関市学校給食センターに備蓄している非常食「救給カレー」を学校給食の防災献立として提供し、児童生徒に防災について考えてもらう機会とします。



【9月1日の防災献立】

救給カレー、キャベツサラダ、明宝ソーセージ
ほうれんそうと鶏肉のスープ、牛乳